

那珂川町橋梁長寿命化修繕計画

町の生活・道路交通の安全性を確保するために

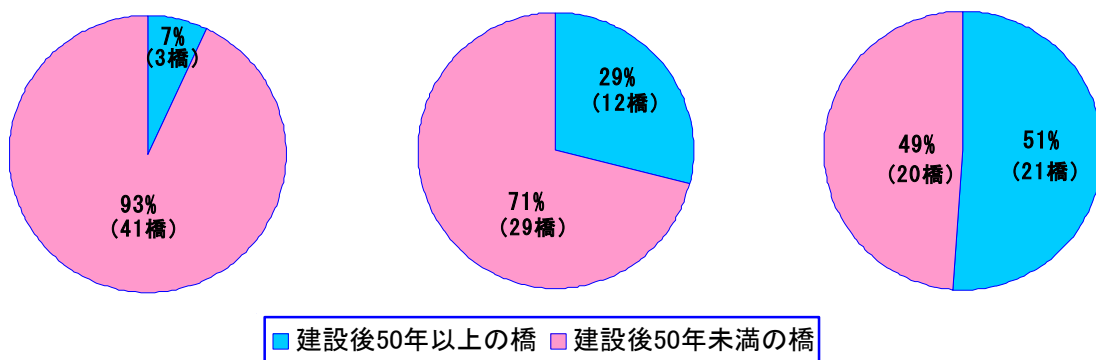


橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的

那珂川町が管理する橋は平成 23 年 12 月現在 231 橋あります。今回はこのうち規模が大きく重要性の高いものとして橋長 15m以上の橋を対象に調査しました。調査対象となった 41 橋のうち、建設後 50 年を経過した橋は 3 橋、40 年以上 9 橋、30 年以上 9 橋、20 年以上 13 橋、10 年以上 5 橋、それ以下が 2 橋となっています。つまり、今後 20 年以内に橋の平均的寿命とされている 50 年以上の橋が半数を超えることとなります。今後急速に老朽化するこれらの橋に対して、「壊れたら直す」「壊れたら架け替える」という従来の対応では、それに掛かる費用が多くなること懸念されます。

このような背景から、道路交通の安全性を確実に確保しながら、計画的に橋の補修を行い、そのコストを縮減する必要があります。具体的には、従来の対処療法型維持管理手法を転換し、橋の寿命を延ばすための予防保全型の維持管理手法として行くことです。

現 在 (平成23年 2011) 10年後 (平成33年 2021) 20年後 (平成43年 2031)



建設後 50 年以上の橋の推移

橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

対象橋梁および径間数	橋梁数	径間数
全管理橋梁数 (2.0m以上)	231	275
うち計画の対象橋梁数	41	81
H23 年度計画策定橋梁	39	79

全管理橋梁のうち、橋長 15.0m以上の橋梁 41 橋について行った簡易点検結果により、補修の必要性ありと判断された 39 橋を橋梁長寿命化修繕計画対象橋梁としました。

日常的な健全度の把握に関する基本的な方針

定期点検の実施と日常の維持管理の徹底

健全度の把握については、今後も定期的に点検を行い、橋梁長寿命化修繕計画に反映させます。

日常的なパトロールに関する基本的な方針

随時実施している道路パトロール時において、異常の早期発見に努めます。

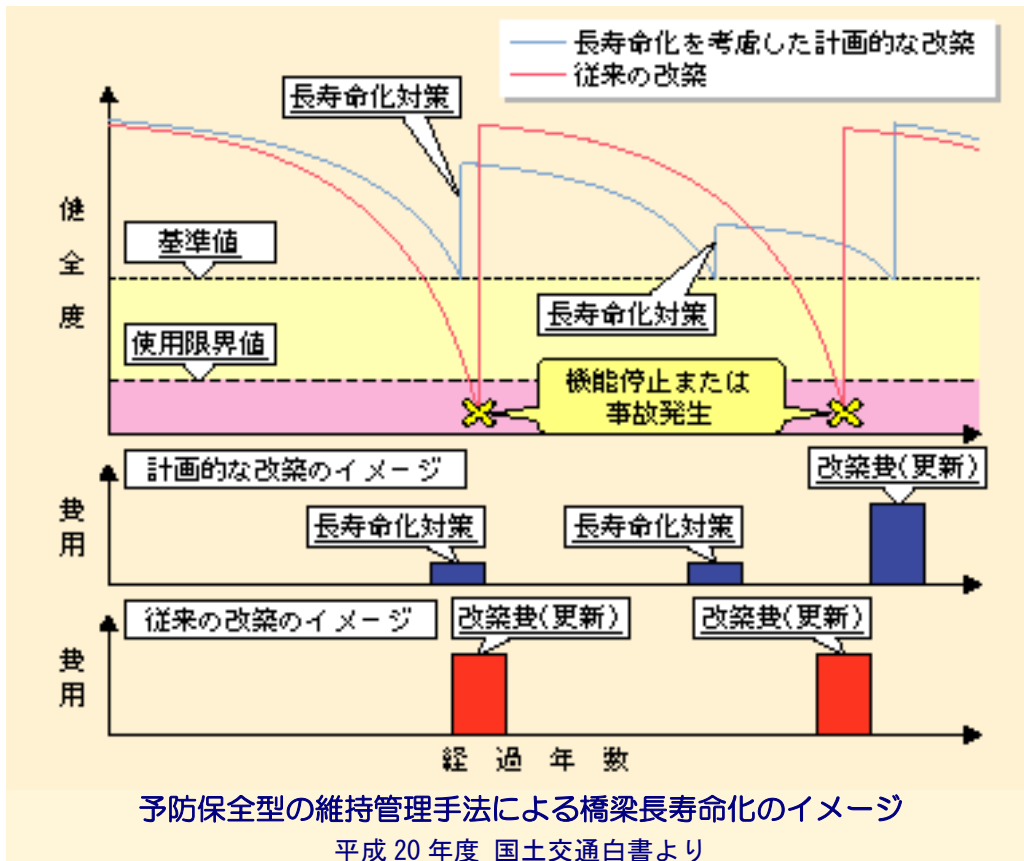
橋梁長寿命化修繕に関わる費用の縮減に関する基本的な方針

橋梁の点検による費用の縮減

本計画により、簡易な橋梁点検は道路パトロール時等に職員により行われるようになり、損傷の早期発見による補修費等の低減が期待できます。また詳細な点検についても定期的に行うことにより、修繕を的確な時期に行うことにより費用の低減が期待できます。

計画的な修繕工事の実施

橋梁長寿命化修繕計画に沿って修繕を行うことにより、突然の不具合による対処療法的な費用を低減できます。また、修繕工事を計画的に行うことにより、必要予算の平準化が図られます。



橋梁長寿命化修繕計画による効果

橋梁が架け替えにいたるまでの総費用を橋梁のライフサイクルコストと言います。壊れたら架け替えることを前提としてほとんど補修を行わない場合と、こまめな補修を行い、長寿命化を図った場合では、橋梁のライフサイクルコストに違いが生じます。那珂川町の対象橋梁において、長寿命化を図ったほうが、効果が高く、ライフサイクルコストの縮減が図れます。

意見聴取した学識経験者

宇都宮大学大学院 教授 中島 章典

橋梁長寿命化修繕計画策定担当部署

那珂川町役場 建設課 TEL 0287-92-1118